



YANMAR

News Release

2026 年 5 月 21 日
ヤンマーホールディングス株式会社

ヤンマーサンセットマリーナ、 ブルーフラッグ認証を 2 年連続で取得



<ヤンマーサンセットマリーナ全景>

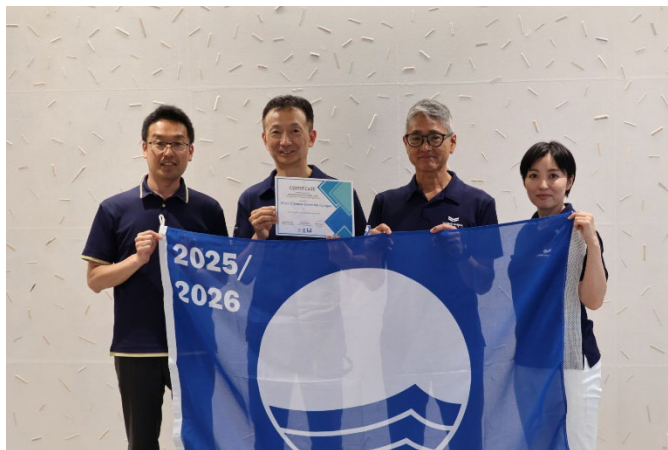
ヤンマーホールディングス株式会社の関係会社であるヤンマーコーポレーション株式会社が運営する「ヤンマーサンセットマリーナ」(滋賀県守山市)が、「ブルーフラッグ認証」を 2 年連続で取得しました。ブルーフラッグとは、デンマークの国際 NGO「FEE(国際環境教育基金)」による海水浴場・マリーナ・観光船舶を対象とした国際的な環境認証であり、環境教育、管理体制などに関する厳格な基準を満たすことで取得できます。ヤンマーサンセットマリーナは、2025 年に湖のマリーナとしてアジアで初めて同認証を取得しました。

「資源循環型マリーナ」をコンセプトに、琵琶湖で発生する水草や施設から生じる食物残さを活用した資源循環の仕組みを作り、地域特有の環境課題を新たな価値へ転換した点が評価されました。また、太陽光発電の活用やエネルギー管理の最適化、風向風速計の設置による安全運航支援など、環境配慮と安全性を両立した運営、スタッフ一人ひとりの意識と行動を基盤とした継続的な改善の取り組みについても評価を受けています。

今年度は、ブルーフラッグ認証を 2 年連続で取得するとともに、「Blue Flag Good Practice Competition」において、北半球のブルーフラッグ認証取得団体が提出した「サーキュラーエコノミーの推進」に関する 13 の事例の中で最優秀事例に選ばれました。Blue Flag Good Practice Competition とは、FEE が毎年テーマを設定

し、各国から最大2事例を選出するコンペティションです。今回は琵琶湖の水草を回収し、農地に使用するという取り組みに関して、課題解決と価値創出を両立した点が評価されました。

今後もヤンマーサンセットマリーナは、琵琶湖の自然環境と調和しながら、世界基準の環境配慮・安全性・サービス品質を備えたマリーナ運営を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



<森中高史 守山市長(左)への報告の様子>

<ヤンマーについて>

1912年に大阪で創業したヤンマーは、1933年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。大地・海・都市のフィールドで、エンジンなどのパワートレインを軸に、アグリ・建機・マリン・エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開し、顧客価値を創造するソリューションを提供しています。創業以来受け継ぐ、人と未来の可能性を信じ挑戦を後押しする「HANASAKA」の精神を原動力に、「A SUSTAINABLE FUTURE –テクノロジーで、新しい豊かさへ。–」の実現を目指します。

<注記>

記載内容は本リリース発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマーホールディングス株式会社

マーケティング部 コーポレートコミュニケーション部 広報担当

E-mail: koho@yanmar.com